



世界のトウモロコシ市場レビュー

米国の状況概要

かんばつにより今年の米
国産トウモロコシが不
作になったため、世界
中の穀物バイヤーがコ
ストを抑えるオプションを探してい
ます。それと同時に、輸出国の生産
者がより多くのトウモロコシや粗粒
穀物をバイヤーに輸出することによ
り、現在の価格の優位性の恩恵を求
めようとしています。

世界で第2番目に大きなトウモロコ
シ輸出国のアルゼンチンでは、最近
の降雨と米国のかんばつによる価格
上昇の恩恵を得ようと、早く 2012
-13年産の播種をしようとしてい
ます。

アメリカ穀物協会のコンサルタント
によれば、アルゼンチンの穀物年度
中のトウモロコシ輸出量は約 1,350
万トンに上るとのことです。しか
し、南米のトレーダーは、政府が9

世界のトウモロコシ生産の 2011-12年と 2012-13年の比較 (2012年8月現在の予測) 予測通りになれば市場第2番 目の生産量となる

出典：米国農務省 8月需給予測、再生可能燃料協会

	百万トン		% Change	
	2011-12	2012-13	2011-12	2012-13
米国	313.9	273.8	-40.1	-12.8%
中国	192.8	200.0	7.2	3.7%
ブラジル	70.0	70.0	0.0	0.0%
EU-27 各国	64.6	61.5	-3.1	-4.8%
前12 各国	33.7	32.1	-1.6	-4.7%
東南アジア	25.2	25.6	0.4	1.6%
アルゼンチン	21.0	28.0	7.0	33.3%
メキシコ	19.0	21.5	2.5	13.2%
南アフリカ	11.5	13.5	2.0	17.4%
カナダ	10.7	12.8	2.1	19.6%
他	111.3	110.2	-1.1	-1.0%
TOTAL	873.7	849.0	-24.7	-2.8%

月に輸出ライセンスをさらに 150 万
トンから 200 万トン上積みすると予
想しています。そうなった場合には、
アルゼンチンからの輸出が米国農務
省の 8月世界需給報告書で予測して
いる 1,600 万トン近くに達すること
になります。

アルゼンチンのトウモロコシ輸出は
昨年を上回るペースで進んでいると
コンサルタントは解析しています。
輸出の約半分はコロンビア、韓国、
マレーシア、ペルー向けです。米国
農務省は中国のトウモロコシ輸入見
積もりを低くしましたが、中国の国
家穀物管理局の前局長は、米国産ト
ウモロコシが中国市場価格を上回れ
ばアルゼンチンなどの国からも買い
付けるかもしれないと述べています。
米国農務省の 2012-2013年米国産
トウモロコシ平均価格は\$7.50-
8.90/ブッシェル (\$295-350/トン)
と予測していま
す。

米国農務省は今
年の中国のトウ
モロコシ生産を
約 2億トンと予
測していますが、
中国当局は 1億
9,700 万トンほ
どであろうと述
べています。ア
メリカ穀物協会
北京事務所が 7
月に行った中国
北部のクロップ
ツアーでは、良
好な生育を観察
しています。2012-
13年中国産トウ

米国農務省の 8月穀物生産報告書で
は、米国のトウモロコシ生産を
2006-2007年以來最低の 108 億ブ
ッシェル (2億 7,380 万トン)、単収
を 1995-1996年以來最低の 123.4
ブッシェル/エーカー (7.4 トン/ヘク
ター) と予測している。米国農
務省は輸出量を 2011-2012年の 15 億
5,000 万ブッシェル (3,940 万トン)
と 2010-2011年の 18 億ブッシェル
(4,660 万トン) より低い 13 億ブ
ッシェル (3,300 万トン) と予想して
いる。

平均価格は昨年の\$6.25 ドル/ブッシ
ェル (\$246/トン) より低い\$7.50-
8.90 ドル/ブッシェル (\$295-350/
トン) と予測されている。

次回の米国農務省報告書は 2012年
9月 12日発行予定である。

モロコシについてのより正確な理解
を世界の穀物トレーダーが得る一助
とするため、協会では9月に秋の中
国収穫期ツアーを行う予定です。

前ソビエト地域 (FSU) とウクライ
ナでのトウモロコシの生産と輸出は、
黒海周辺当該 2地域からの全粗粒穀
物輸出が高温乾燥条件による減少と
同様に減少しました。ロシアからの
小麦輸出は 400 万トン下がり 800 万
トンになりましたが、ウクライナか
らは 200 万トン増加し 600 万トンに
なりました。トウモロコシ価格の上
昇により小麦の飼料としての重要性
が増しています。

4 ページに続く

トウモロコシアップデート:ネブラスカ

ネ ブラスカ州の生産者アラン・ティーマンにとって、ネブラスカ州セワードにある彼の農地には毎年いろいろなことがありましたが、今年は間違いなくこれまでになく厳しい年であったことは間違いありません。

4月中旬にトウモロコシの播種を行いパーフェクトに近い春で始まりました。天候は温暖で、適度に降った春の雨によって生育も順調でした。ところが、5月に高温で乾燥した天候が訪れすべてを破壊していったのです。

ティーマンは「灌漑をしていない農地では6割くらいの収穫、1エーカーあたりおよそ75から90ブッシェルだろうと予測していますが、これはヘクタールあたり4.71-5.7トンに値します。低い単収に加え、このあたりのトウモロコシは容積重も低くおそらく51-52ポンドくらいであろうとのことです。

「私たちのドライランドコーンの茎の状況もよくないので、強風に耐えられないため、今秋には収穫を始めなくてはならないかもしれません。受粉はよかったので、播種が早ければ早いほど成績がよかったです」

ネブラスカ州の生産者の多くが灌漑可能で、州内の約7割のトウモロコシ畑が灌漑されています。

しかし、全米では灌漑による穀物生産は14%にすぎません。これが米国全体の単収予測がこの2か月で劇的に下がった理由です。

灌漑可能な畑のトウモロコシは正常に見えるが、早い播種と温暖な天候のために通常より3週間早く成熟しているとティーマンは言っています。「農地へは一定量の感慨をするので、通常の収量はエーカーあたり180-200ブッシェル（11.3-12.6トン/ヘクタール）の範囲になります」

ネブラスカ州全体では、米国農務省の8月の予測ではエーカーあたり147ブッシェル（エーカーあたり9.2トン）で、州内全生産量は13億4,000万ブッシェル（5,280万トン）に上るとされている。◆



ネブラスカ州生産者：アラン・ティーマン



アラン・ティーマンのドライランド（非灌漑）の一部を上を示す。今週には収穫を始めたいとしている。灌漑した農地（下）はより作物の状態がよく、ドライランドの2倍以上の収穫がある。



トウモロコシ品質報告書の発行

W 2012年米国産トウモロコシは何十年来最悪のかんばつに見舞われ、その品質については、世界中の多くのバイヤーが疑問を呈しています。

そのような疑問に答えるため、アメリカ穀物協会ではコモディティエローコーンのサンプルを主要生産州全体から収集し、さまざまな試験をしたのち、**2012年収穫品質報告書**として発行します。今年の発行は11月を予定しています。

この調査のサンプルは参加州のカントリーエレベーターによって集められ、米国農務省の基準に従った分析をするためにラボに送られます。

今年は、アメリカ穀物協会が行うこのような全国トウモロコシ品質調査報告書の2年目となります。

初回であった2011年の報告書では、米国産トウモロコシが、良好な容積重、低いストレスクラック、そして良好な水分含量をもって世界の市場に出荷されたことを示しました。

2011年収穫品質報告書に引き続き、2011年輸出貨物品質報告書によって、輸出ターミナルで積み込み時のトウモロコシサンプルの試験結果を掲載しました。2012年産についても本報告書を発行します。

等級と基準ファクター、水分含量の早期情報を提供するほか、本報告書はこれまで報告されてこなかった品質ファクターの情報も提供しています。

「これらの報告書は各穀物年度の米国産トウモロコシの品質に関して、透明性の高い一貫した方法による信頼できる情報を提供することを目的としています。昨年の報告書は非常に高い評価を受け、2012年も同様に関心が高いと予想しています」とアメリカ穀物協会会長のドン・ファストは述べています。

2011年の報告書のご希望はアメリカ穀物協会へどうぞ。

Export Exchange 2012 が始まります

アメリカ穀物協会と再生可能燃料協会主催の Export Exchange 2012 会議が 2012 年 10 月 22 日から 24 日までミネソタ州ミネアポリス、マリオットシティセンターにて開催されます。

Export Exchange は米国産粗粒穀物と DDGS やコーングルテンを含むその共産物の輸出に焦点を当てた国際貿易会議です。この会議には DDGS と粗粒穀物の海外のバイヤーや利用者と米国の生産者と農業関連企業が一堂に会します。

Export Exchange 2010 は大きな成功を収めました。世界中から 1 か所に人々が集まり、これらのコモディティの取引や情報収集を行いました。この会議で作られたビジネス上のつながりは今でも続いています」とアメリカ穀物協会前会長のウェンデル・ショーマンは述べています。

2012 年には、500 人以上の米国粗粒穀物とその共産物のバイヤーとセラヤーが参加すると期待されています。

Export Exchange 2012 に関する詳しい情報は www.exportexchange.org に順次掲載していきます。

ご興味がおありの方は、各地の協会事務所あるいは協会メンバーシップマネージャーの Lyndsey Erb-Sharkey まで、lerbsharkey@grains.org にメールにてお問い合わせください。



世界のトウモロコシ市場レビュー 1ページから

トウモロコシについてはウクライナからの輸出は150万トン減って1,250万トンになり、FSUからの輸出は150万トン減の1,440万トンでした。

シカゴにあるAgResource Co.のチーフエコノミストであるビル・ティーンはロイターに対して、ロシアとウクライナが2010年と同様に輸出禁止に動いてもバイヤーは驚かないであろうと述べています。両国政府はバイヤーに輸出禁止、あるいは事実上輸出禁止はしないと明言していますが、懸念は依然としてくすぶっています。当該地域の輸出は今年末に向けて終わるであろうとしているトレーダーもいます。

ロシアが今週WTOに加盟しましたが、アナリストたちはこのことが割当量、輸出税、輸出禁止などの国内共有保護策の実施の歯止めにはならないとしています。

「ウクライナかロシアが輸出を止めるあるいは遅らせる方向に動く可能性はまだ存在しています。もちろんバイヤーは用心深く、一度扉を閉ざせば、信頼を再構築することは困難です」とアメリカ穀物協会のチュニジア事務所のケアリー・シフェラスは述べています。

※本ニュースレターの原本は英語であり、こちらは参考翻訳です。

他の穀物供給国について

- ❖ 米国農務省はブラジルの2012-13年の輸出量昨年と同レベルの1,400万トンとしています。
- ❖ 南アフリカはそのトウモロコシ生産予測を1,080万トン近くとしています。このため、2012-13年のバランスシートはタイトなものになるかもしれません。今年、南アフリカは290,000トン以上のホワイトコーンをメキシコに輸出しました。
- ❖ インドのいくつかの地域の穀物生産が乾燥天候によって影響を受け、生産高が減少する可能性が高いです。しかし、米国農務省では、小麦、米、綿そして大豆かすを引き続き輸出するであろうと予測しています。

かんばつによるミシシッピ川の交通への影響

今週、はしけが低水位のために座礁し、はしけによるミシシッピ川の交通が11マイルにわたり、1日以上遮断されました。ミシシッピ川は米国内の穀物流通にとって中西部とメキシコ湾の港をつなぐ重要な水路です。

10隻以上の浚渫船が水路の推進を確保し、はしけによる交通を維持しようとしています。航行ブイは、より深い水路を示すように再配置されました。

ミシシッピ川の水位は例年の同時期に比べ12フィート低いと予測されています。降雨がない限り、水位は引き続き下がりが続け、記録的な低水位になる地点も出てくると思われます。

すでに、座礁を避けるためはしけの積載量は75%に抑えられています。通常であれば3隻のはしけで運べる荷について4席の軽くなったはしけが必要になるということになります。

低速での河川航行が引き続き行われ、航行閉鎖が何か所かで起こっていることとあいまって、コスト上昇が進んでいます。

米国での収穫期が近づくにつれて、メキシコ湾のターミナルへの迅速な輸送の能力が懸念されます。

ADMの渉外担当部長のデービッド・ワイントラウブ氏はAgri-Pulseに対して、ADMは状況を引き続き監視し、はしけによる交通へのかんばつの影響が続くようであれば、他の輸送手段の準備をすと述べています。